



## 愛知労働局長がベストプラクティス企業を視察訪問しました

愛知労働局では、令和元年11月13日、木原亜紀生局長が時間外労働の削減に積極的に取り組む名古屋市北区の木下精密工業株式会社（従業員数55名）を視察訪問し、木下治彦代表取締役社長、木下朋美代表取締役副社長らと対談しました。

同社では時間外労働の削減や休日の増加を図り、働きやすい職場環境を整えることで人材確保につなげるため、24時間稼働のマシニングセンター、ワイヤー放電加工機を導入し生産性を大きく向上させました。その他、効率的な業務処理に取り組み、月の平均所定時間外労働を平成30年は前年比3時間減、令和に入ってから前年同時期比10時間減を達成しています。また、社内アンケートの意見を踏まえ、年間所定休日を3日増加させました。



<マシニングセンターの説明を受けている様子>



さらに、同社では効率化により削減した作業時間の一部をQCサークル活動や技能道場の開催の時間にあて、技術の向上や伝承を図ることにより社員一人一人の付加価値を上げ、さらなる生産性向上に努めているなど、技術力を向上させつつ、働く人を大切にしていける企業としての思いをお聞きすることができました。